男と男の真剣勝負

■キャスト
涼真(りょうま)
桔平(きっぺい)
陽菜乃(ひなの)

■台本

公園のベンチ。ここには涼真と桔平しかいない。

涼真「……勝負だ」
桔平「いいぜ、受けて立つ」
涼真「ふふ。ほえ面かくなよ」
桔平「そっくりそのままお返しするぜ」
涼真「じゃあ、いくぜ。まずは……陽菜乃」
桔平「……おいおい。いきなりぶっこんでくるな。いつの間に……。まあ、いい。俺も陽菜乃だ」
涼真「……やっぱり、お前もか。次、西園寺心陽(こはる)ちゃん」
桔平「……心陽ちゃんか。なかなかやるな」
涼真「ふっ……。まあな」
桔平「佐々木芽依……」
涼真「なっ!」

立ち上がる涼真。

桔平「ふん。そう、ビビるなよ。まあ、座れって」
涼真「くっ!(座る)」
涼真「次は俺だな。望月夏帆ちゃん」
桔平「はあ!? ば、バカ! おまっ! 夏帆ちゃんには康太がいるじゃねーか」
涼真「だから、どうした?」
桔平「……お前も筋金入りだな」
涼真「引く理由なんてないだろ?」
桔平「確かにな。さすが、俺のライバルといったところか」
涼真「さあ、次はお前だぜ」

桔平「渡辺美奈……」
涼真「ふん。まあ、無難なところにいったな」
桔平「俺は女子を差別しねえ」
涼真「……ちっ。格好いいこと言うじゃねーか。じゃあ、俺は菅野里奈ちゃんだ」
桔平「咲良」
涼真「咲茉(えま)ちゃん」
桔平「楓」
涼真「舞ちゃん」
桔平「青葉」
涼真「穹(そら)ちゃん」
桔平「詩恩(しおん)。……って、キリがねえ。同級生の娘らは除こうぜ」
涼真「そうだな。じゃあ……俺は……木下愛奈(あいな)ちゃんだ」
桔平「木下愛奈……？　誰だ？」
涼真「ほら、もも組のときの」
桔平「……ああ！　あの子か！　って、お前、それ幼稚園のときの話じゃねーかよ」
涼真「女子を差別しない。それは年齢もじゃないのか？」
桔平「くっ！　そ、そうだな……。じゃあ、俺は若狭(わかさ)先生だ」
涼真「マジかー！　先生、いったのかよ！」
桔平「当然だろ」
涼真「やっぱ、お前はスゲーな。大した幼稚園児だよ」
桔平「次はお前だぜ？」
涼真「……」
桔平「終わりか？　なら、俺の勝ちだな」
涼真「……いや、待て」
桔平「……なんだ？　いるなら早く言えよ」
涼真「……水無月(みなづき)……怜(れい)……」
桔平「なんだとっ！」

桔平が凄い勢いで立ち上がったため、椅子が倒れる。

涼真「……」
桔平「お前……。冗談じゃ済まされないぞ」
涼真「当たり前だ」
桔平「……そうか。いや、まさかとは思ったが…ホント、スゲーな。怜は確かに可愛いが……」
涼真「……」

桔平「男もか……」
涼真「さあ、次はお前だぜ？」
桔平「くっ……」
涼真「さすがにもういないようだな。俺の勝ち……」
桔平「……トメさん」
涼真「なっー！ おまっー！ 俺のばあちゃんにっー！」
桔平「うるさい」
涼真「お前に分別はねーのかよ！」
桔平「お前に言われたくねーよ！」

そのとき、近づいてくる陽菜乃。

陽菜乃「あれ？ あんたたち、何やってんの？ 喧嘩？」
涼真「陽菜乃は黙っててくれ。これは男と男の勝負なんだ」
陽菜乃「はあ……。どうせ、また、くだらない勝負なんでしょ。今日はなんの勝負してたのよ」
桔平「今までフラれた人の人数」
涼真「多い方が勝ちってルールだ」
陽菜乃「……それって、勝った方が、男として負けなんじゃないの？」
涼真「……っー？」
桔平「……っー？」

終わり。